

事業所名

子ども発達未来塾棕本(共生型児童発達支援)

支援プログラム

作成日

令和6年

11月

11日

| | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|------|-----|---------|---------|--|----|
| 法人(事業所)理念 | | 豊富な知識と確かな実践を礎に、豊かな人間性と生きる力を持った子育て支援を行っています。 | | | | | | |
| 支援方針 | | 一人ひとりの個性を大切に、丁寧に寄り添いながら支援を行います。同施設には、放課後等デイサービスの学童もかよっており、障害の有無にかかわらず、幅広い世代が共生するインクルーシブな環境を提供します。他者とのかわりの中で、自主性や主体性を学び、はぐくめるよう支援していきます。 | | | | | | |
| 営業時間 | | 10時 | 0分から | 18時 | 0分まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 基本的な生活習慣を身につけ、身の回りのことが自分でできるようになるよう、繰り返し丁寧に声をかけ、支援していきます。 | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 安全に配慮し、理学療法士や作業療法士の指導のもと、楽しみながら体を動かしたり、広々としたグラウンドでの活動を取り入れたりしながら、体幹や平衡感覚が身につくように支援していきます。 | | | | | | |
| | 認知・行動 | 製作や遊びの中で、色や形、物の名前などを知り、できた時の満足感や達成感を味わえるように、一人ひとりに合わせた活動を提供します。 | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 歌を歌ったり、手遊びをしたり、絵本の読み聞かせなど、楽しみながら言葉に触れる機会をつくり、子どもたち一人ひとりと丁寧なコミュニケーションも心がけながら、他児との関わりも増やしていけるように遊びを提供したり、仲介したりなど、たのしみながら関わりを増やしていけるように支援していきます。 | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 放課後等デイサービスの児童と関わることができ、状況や環境に応じた振る舞いやかわり方などが身につくように、側で見守りながら支援して行きます。 | | | | | | |
| 家族支援 | | 保護者の方との面談など、定期的に行います。 | | | 移行支援 | | 一人ひとりの様子に合わせ、他者とのかわりやコミュニケーションがとれるように支援を行います。 | |
| 地域支援・地域連携 | | 保育園や関係施設との連携を行います。 | | | 職員の質の向上 | | 週に一度、ミーティングや振り返り、計画などを行います。また、専門家の先生方からの指導もいただきます。 | |
| 主な行事等 | | お誕生日会・ハロウィン・クリスマス・お正月・サツマイモ収穫等の実施。 | | | | | | |